日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

様　式　Ｆ－７－１

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（令和元年度）

機関番号	３２６０４

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究代表者	部局	キャリア教育センター
	職	教授
	氏名	平井　郁子

１．研究種目名　挑戦的研究（萌芽）　　２．課題番号　19K21728

３．研究課題名　車両用座席シートの審美的快適性の研究―白色化防止座席シート開発への提言―

４．補助事業期間　令和元年度～令和３年度

５．研究実績の概要

科研の採択の決定が2019年７月上旬であったために、研究のスタートが遅れた。

９月に第１回座席シートの審美的効果のアンケート調査を実施するための打合せを実施した。そこでアンケートに用いる資料として、座席シートが白色化している車両の写真をできるだけ多く撮影することにした。車両は、関東近辺の私鉄、地下鉄、ＪＲなどを撮影することにした。乗客が少ない時間帯に乗客が着座してない場所を捜し、座席シートの写真を撮影した。着座していない座席シートの写真撮影は難しく、多くの時間を要した。

座席シートの審美的効果のアンケートを実施するに当たり、白色化したものと白色化していないものとの比較をする必要がある。座席シートの白色化したものは、容易に見つけられるが、白色化していない（未使用の座席シート）ものの撮影は、車両を製造しているメーカへの依頼が必要であった。そのため、ＪＲの協力を得て、座席シートの使用前のシート生地と座席シートに使用したシート生地の撮影を実施した。しかし、座席シート生地そのものの撮影であり、座席シートとしての撮影ではないので、アンケートに影響を及ぼさないようにアンケート用紙を作成する必要がある。それを考慮した第２回目のアンケート調査の打合せを2020年3月に予定していたが、コロナ禍の影響により中止せざるを得なくなった。学生へのアンケート調査も、授業再開後になるため、研究が予定通りに進行していない。

ＪＲの未使用の座席シート生地と使用後の白色化した座席シート生地の写真撮影時に、並行して座席シート生地の測色（接触・非接触）を行った。次年度に実施する白色化を感じる色差の検討に使用するデータとするための測色である。

６．キーワード

座席シート　白色化　写真撮影　アンケート調査　測色

７．現在までの進捗状況

区分　（3）やや遅れている。

理由

科研の採択の決定が2019年7月上旬となり、研究のスタートが夏休みからとなった。

座席シートの写真撮影は、乗客の少ない時間帯及び乗客が着座していない座席シートを撮影する必要があり、写真撮影に時間がかかった。

座席シートの審美的効果のアンケートを実施するに当たり、白色化していないものと白色化したものとを比較する必要がある。白色化した座席シートの撮影は容易にできるが、白色化していない座席シート（シートが未使用のもの）の撮影は難しく、ＪＲの協力を得て座席シート生地の未使用のものと、使用後の座席シート生地の写真撮影を実施した。

アンケートの打合せがコロナ禍の影響で中止となった。また、アンケーの対象としている学生もコロナの影響で授業の再開ができないため、アンケートの実施が止まっている状態である。

８．今後の研究の推進方策

授業が再開後、早急にアンケートの打合せを行い、アンケート用紙を作成し実施する。
実際に使用されている座席シートサンプルにより、白色化の再現試験を行い、どれくらいの期間、どれくらいの着座回数で白色化が起こるのかを検討するために、白色化の再現試験を実施する。
また、未使用のシートと使用後のシートでは色差がどのくらいのときに白色化を感じるか、色差の検討をする。
コロナ禍が収まった後、国内及び国外の座席シートの実態調査を実施する。

９．次年度使用が生じた理由と使用計画

座席シートの国内外の実態調査、打合せのための交通費、実験を行うための機器レンタル料及び使用料、アンケート調査に対する謝金、通信費、資料代等のために使用する。

１０．研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕　計0件

〔学会発表〕　計0件

〔図書〕　計0件

１１．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

１２．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

１３．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

－

１４．備考

－